



公立大学法人  
山口県立大学  
Yamaguchi Prefectural University

県大生の

# 한국 ジャーナル

## 韓国ジャーナル

No.3  
2009年3月

【編集責任者】安部 杏実、小野 華奈、垣下 友希、畑野 友里恵

【発行責任者】林 炫情（国際文化学部 国際文化学科 准教授）

【支 援】公立大学法人 山口県立大学 文部科学省 現代GP 2008年度支援事業（地域の活性化）

〒753-8502 山口県山口市桜島3丁目2-1

## 駐広島大韓民国総領事 直撃インタビュー

昨年度5月に着任された駐広島大韓民国（以下、韓国）総領事館の  
許徳行（ホドヘン）総領事にお話を伺いました。

### 1. 広島総領事館について教えてください。

総領: 広島総領事館では現在10名が働いています。部署は、総務部署、経済文化広報部署、領事民願部署の3つがあります。まず、総務部署は総領事館が管轄している地域内においてのいろいろな事務をまとめたりしています。次に、経済文化広報部署は日韓の経済貿易交流や、文化交流、また韓国を紹介する広報といった活動を支援しています。最後に領事民願部署は、韓国に長期滞在を希望する日本人にビザを発行したり、韓国国籍を持っている韓国同胞の方たちにパスポートを発行したりしています。

### 2. あらためて大使館と領事館の違いを教えてください。

総領: 現在、韓国では海外に153箇所海外公館があります。その中で大使館が109箇所あり、総領事館が41箇所、代表部が3箇所あります。小さい国の場合は大使館をひとつ置けば十分ですが、海外同胞がたくさんいる国や韓国との関係がとても重要な国家の場合、大使館以外に総領事館が必要となります。大使館と領事館の主な違いは、大使館は外務省などと外交交渉を担当しているのに対して、総領事館は海外同胞の保護活動や経済交流、文化広報活動をしている点です。

### 3. 外交官になろうと思われたきっかけは何だったのですか？

総領: 私は1978年度に外交官になりました。その当時は、韓国が初めて本格的に海外進出をしながら貿易活動をし始めた時期で、そんな時代の中、私も海外で国のためにする仕事してみたいと思い、外交官になろうと決心しました。海外勤務で、最初に行ったのはアフリカのナイジェリアでした。その次は東京、それからアメリカのアトランタ、タイ、横浜、ギリシャ、マレーシアでの勤務を経て、昨年度5月からは広島勤務となりました。

### 4. 仕事をしながら、やりがいを感じるのはどんなときですか？

総領: 外交交渉が目標としていたとおりに達成したときや、海外同胞たちの福祉問題が希望通りになったときに、大きなやりがいを感じます。以前マレーシアで勤務していたとき、マレーシアには海外同胞が約3万人程度住んでいたのですが、それにも関わらず韓国の放送が放映されていない状況でした。そこで、マレーシアのケーブル会社や韓国のKBS（国営放送局）といろいろ交渉をして、ついにマレーシアでも韓国の放送が放映されるようになりました。このとき海外同胞達が大変喜んでくれ、いろいろ感謝の言葉を聞くことができました。



### 5. 総領事が日韓関係で期待する未来の姿などありましたら教えてください。

総領: これからの日韓関係は、今まで以上に、とても良くなると予想しています。まず、お互いの理解が少しずつ高まっていき、また経済、文化、スポーツ方面で交流がますます活発になり、そして、いつか、ヨーロッパにおけるドイツとフランスの関係のように国境の無い、そんな関係になれると考えています。

### 6. 最後に私達のように韓国へ興味をもっている多くの学生にメッセージをお願いします。

総領: これから、世界の中心はヨーロッパやアメリカではなくまさに東北アジアになるでしょう。中国・日本・韓国が、世界経済の一番大きな軸になると予想しています。そこで、日本の一番近い国である韓国を理解し、また韓国を理解する一番基本的なツールとして韓国語を勉強することはこれからの新しい時代に向けての準備であり、これからの日韓関係の発展や本人の将来、キャリアのためにもとても大きな力になると考えています。

広島市中区袋町5-28 和光広島ビル4階  
駐広島大韓民国総領事館  
TEL: 082-543-5018~9

**インタビューを終えて** 今回のインタビューは、今までの韓国ジャーナルで行ってきたインタビューと違い、全て韓国語で行わなければならず緊張していました。しかし、総領事は緊張と不安でいっぱいだった私達をあたたく迎えてくださり、丁寧に私たちの目を見て話して下さるとも優しい方でした。質問事項を暗記して挑んだものの当日は頭が真っ白になり、一生懸命質問しても総領事の言葉を理解するのは難しくとても悔しかったです。海外経験豊富な総領事のお話は、自分自身の夢や今後についても考えるきっかけとなりました。この経験を忘れずに今後も夢に向かって頑張っていきたいと思えます。（安部・小野・垣下・畑野）



総領事館

# データで見る韓国

世界的な金融危機で、日本では「内定取り消し」や「派遣切り」が問題となっています。大学生の就職戦線が売り手市場から一転、厳しくなっており、韓国でも大学生の就職状況は一層厳しさを増しています。

グラフは、韓国と日本の大卒の就職率をあらわしたものです。日本では90%台の就職率が、韓国では70%に達していません。昨年、4年生大学を卒業した人のうち正社員として就職できたのはわずか全体の48.0%です。つまり、大学卒業者の2人に1人は無職者やフリーターになってしまう傾向にあります。

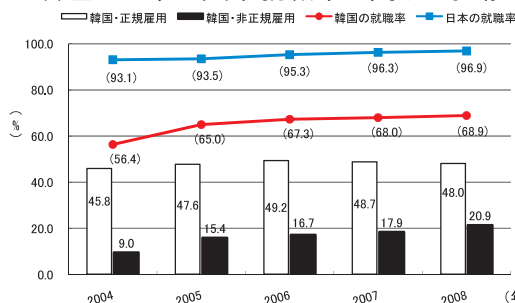
最近、韓国では20代の若者を「88万ウォン世代(88만 원세대)」と呼びます。88万ウォン(日本円で約6万円)は、大卒の非正規職の平均給与額を表していて、正規職に就くことができずに非正規職を転々とする20代を象徴する言葉として使われています。日本円で約6万円と考えると、韓国の大学生がいかに厳しい時代を生活しているのかと驚かされます。

また「就職5点セット」という言葉もあります。これは、卒業証書だけでは職を得ることができず、他の経歴も必要だということから生まれ、「インターンやアルバイト、資格、受賞歴、ボランティア活動の記録」を意味しています。

日本も韓国も経済が安定し、就職しやすい国になることが今、両国の大学生の願いであることに違いありません。

(安部・阿波野)

韓国と日本の大卒就職率に関する推移



注: グラフは、日本は厚生労働省調査 (<http://www.mhlw.go.jp/>)、韓国は教育科学技術部・韓国教育開発院育開院調査 (<http://www.mest.go.kr/>) によるデータをもとに作成

## 知っ得! 韓国のお葬式

みなさんは「お葬式」というと、どんなイメージがありますか? 家族、恋人、友人など、大切な人が亡くなった時ほど辛いことはないと思います。日本では、故人を大切に想うからこそ葬儀などは静かに、厳粛に行われますが、お隣の国・韓国ではちょっと違うようです。今回は、そんな韓国のお葬式事情についてご紹介します。

まず、韓国のお葬式は日本のお葬式に比べてとても賑やかです。日本の場合、いくら辛くても「お葬式」という公式的な場では、涙をぐっとこらえるというのが一般的ではないでしょうか。しかし韓国では、故人が息を引き取ってから葬儀が終わるまで、親族は「アイゴ、アイゴ…」と声を上げて泣きます。この「アイゴ」という言葉自体に特に意味はありませんが、大声で泣くことで自分がどれだけ悲しいか、辛いかということを故人はもちろん、周囲の人に伝えているのです。また、葬儀が行われる3日間、故人の思い出話や慰めの歌などが披露されたり、時にはなんと花札が登場! 花札をしながらワイワイガヤガヤ大盛り上がり。…日本でこんなことをしていると「なんて非常識なんだ!」と追い出されそうですが、そこも韓国ならではの国情柄。韓国では悲しい時だからこそ、故人の親族を見守るつもりで遊ぶのだそうです。賑やかな方が、故人も親族も少しでも悲しみを忘れられるというわけですね。

そして、お墓にも日韓で違いがあります。日本は火葬が多いですが、韓国では土葬が一般的です。しかし、近年では①埋葬するための土地がない②衛生上良くない③地方にお参りに行けないなどの理由から、韓国でも火葬が増えてきています。最近では、ロッカールームのようなお墓もあるそうです。

このように、「お葬式」という一つの文化からも、日韓で違いを見ることが出来ます。ただ、日韓において、あるいは時代において、その表現の仕方に違いはあっても、故人を想う気持ちの深さは変わらないといえるでしょう。(垣下)



## わたしが見た韓国!!

ナジュン エ チョヌア ハルケ  
~나중에 전화 할게!!~

韓国でよく聞く言葉があります。「나중에 전화 할게!!」これは、日本語で「あとで電話するね」という意味ですが、韓国人は別れ際でこの言葉をよく使います。「あとで電話するね」と言われたら、日本人だと電話が来るまで待つと思います。私の韓国人の友達Aさんが、日本人の友達Bさんにこの言葉を使いました。Bさんは寝ずに電話を待っていましたが、電話は掛かってきませんでした。Aさんからすれば、この言葉は「またね」と同じような、後で本当に電話をするわけではないけれど、何気なく使った言葉でした。確かに韓国では、多くの人がこの言葉を当たり前のように使います。しかし、その意味を知らなかったBさんは、電話を掛けてこないAさんに、どうして電話をしてこないのかと喧嘩になったそうです。韓国ではあいさつ代わりに使われている言葉でも、日本ではそうではない「나중에 전화 할게!!」

両方の立場を考えれば、どちらが悪いともいえませんよね。もしかすると韓国語の「나중에」は、日本語の「今度」に近いのかもしれませんが。文化の違いはやはり面白いですね。

(小野)



## 語学研修

### 「グローバルハンマ」

(2008.8.10—8.30)

昨年の夏休み、姉妹校の慶南大学校へ夏期短期語学研修、グローバルハンマに、県立大学生12名が参加しました。このプログラムには韓国語の授業、テコンドー、伝統礼節体験、扇子作り、韓国料理作りなどがあり、週末は慶州や釜山への研修旅行もありました。韓国語の授業は全て韓国語でしたが、他のプログラムや普段の生活は卓우미(チューターの学生)がサポートしてくれて、楽しく過ごすことができました。

この語学研修を通して、韓国語のレベルアップと共に日本では味わえない体験ができ、韓国がもっと好きになりました。

(原田)



扇子作りに挑戦!



## 地域実習①

### 「日韓6大学 セミナー参加」

(2008.9.7—9.12)

浅羽祐樹先生と県大生11名は地域実習で、韓国釜山の東西大学校で開かれた日韓6大学セミナーに参加してきました。日本側は山口県立大学ほか、立正大学と慶應義塾大学が、韓国側は東西大学校、釜山大学校、釜山外国語大学校が参加しました。今回のセミナーでは「教育」をテーマに日本と韓国の大学生が発表、ディスカッションを行いました。日韓の大学生がそれぞれの意見を交換し、理解を深めることで、互いの文化の違いをより一層知ることが出来ました。また、ホームステイ先の学生と一日釜山観光をする機会もあり、楽しかったです。(青柳)



セミナーの垂れ幕

## 地域実習②

### 「珍島 フィールドワーク」

(2008.10.30—11.4)

安溪遊地先生と県大生9名は、地域実習の一環として韓国・珍島にフィールドワークに行ってきました。フィールドワークでのキーワードは、「葬式」と“人間ビビンバ(비빔밥)”でした。日本、中国、ペルーのお葬式を先生方が学会で発表されたり、珍島に伝わる伝統的なお葬式を、地元の方々をはじめ、韓国留学生や私たち日本人と一緒に再現したりしました。また、夜は、今回韓国で大変お世話になったソウル大学のチョンギョンス先生の“人間ビビンバ”の呼びかけとともに、国籍や性別、世代など関係なく、みんなで踊り明かしました。(垣下)



喪興(サンヨ:葬式の時、遺体をお墓まで運ぶもの)

## 弁論大会

2008年11月に福岡国際大学「韓国語弁論大会」(2名)、12月には第5回山口きらら杯マルチリンガル・スピーチコンテスト(1名)と第1回やまぐち韓国語・日本語弁論大会(6名)が開催され、国際文化学部韓国語コースの学生がそれぞれ参加しました。特に、やまぐち韓国語・日本語弁論大会では、2年の原田有紀子さんが優秀賞に、そして一般の山口久美子さんと2人組で参加した4年の貞末典子さんが最優秀賞に選ばれる快挙を果たしました。

## 「釜山からおいでませ山口へ」調査隊

(「YPUドリームアドベンチャープロジェクト2008」採択課題)

山口県観光交流課、在広島大韓国総領事館からの御後援を頂き、10月下旬から12月下旬まで、浅羽研究室の学生8名と地域実習履修生5名が、下関の関釜フェリー乗り場で、韓国人乗船客を対象としたアンケート調査を行いました。本調査は、山口県立大学が位置する山口県における観光の実態を踏まえ、今後の展望を明らかにすることを目的としました。本調査については、2009年1月28日付の毎日新聞にも紹介されました。



毎日新聞 2009.1.28

## ★韓国クイズ★

今回は韓服(한복)についてのクイズです。

Q. 子どもが着る韓服は次のうちどれでしょう??



豆知識♪ 韓服の色は、陰陽五行事上で解釈する自然の色合いに基礎を置いています。また韓服には<sup>고름</sup>言と呼ばれる紐が付いていますが、最近ではその結び方を知っている若者が少なく、簡単に着られるようにマジックテープを使ったもの(C)があります。

# 県大の韓国関連プロジェクト紹介

## 「比較政治における韓国政治」に関する研究(浅羽祐樹先生)

ソウル大学にて博士号を取得。専門は韓国政治を中心とした比較政治です。今は、日米韓の対北朝鮮政策やアジアの大統領制、日韓比の選挙管理委員会の比較を行う共同研究と同時に、個人研究としては韓国憲法の変化に関する研究に取り組んでいます。昨年は、韓国の聯合ニュースに、竹島問題など日韓間で先鋭な問題に関するインタビュー記事が紹介されました。詳しくは、<http://kstudies.exblog.jp>

## 百歳以上高齢者に関する研究(小川全夫先生)

専門は地域社会学です。現在主に取り組んでいる研究は、韓国の国立慶北大学、ハワイ大学の大学院や研究センターと共同で行っている「新しい百歳以上高齢者研究」です。この研究については、日・韓・ハワイによる国際シンポジウム「百歳高齢者研究の現在」、第2回やまぐち地域再生フォーラム「百歳を超えて：世界の長寿地域からの報告」等を通して報告を行いました。詳しくは、<http://blog.livedoor.jp/medaka0731/>

## 日韓の家族社会に関する研究(金恵媛先生)

専門は家族社会です。日韓ハワイ共同研究「新しい百歳以上高齢者研究」にも参画し、高齢期の家族関係についての日韓比較を行い、家族社会視点からの高齢化社会について研究しています。「県大生と地域住民の協働による日韓交流事業」を2008年度から実施しており、2008年度は「靖国問題」をテーマとして勉強会を重ね、データベースを作成しました。2009年3月には報告書が発行されます。また、今年は「コリアンシネマフェスタ」を開催する予定です。

## 日韓のことばと文化に関する研究(林炫情先生)

専門は日本語と韓国語を中心とした社会言語学です。「ことば」と「文化」をキーワードとして、特に日本語と韓国語の呼称使用のポライトネス・ストラテジに関する研究を行っています。また、韓国語e-learning教材の開発にも取り組んでおり、「韓国語学習者作文コーパス」、「韓国語コミュニケーション能力養成のための語彙学習用Web教材」、「イラストで覚える韓国語基本単語カルタ100」などを現在開発中です。

## 2008年に韓国・日本留学した人からの一言



### 阿波野 優美

私が今まで住んでいた日本という国を客観視できたということ、これが一番の収穫だったと思う。1年は本当に短かったが、多くの人と出会え、関わったことに深く感謝している。



### 小野 華奈

1年は本当にあっという間でした。毎日がまるで一期一会のような出会いで、もちろん人との出会いだけでなく、いろんな事を経験し吸収し感謝できた1年だったと思います。この1年を無駄にせずこれからの自分に役立てたいと思います。



### ソン・ウンジン

初め、韓国とは違う環境に慣れる前に言葉の問題で大変だったけど、キム先生と友達のおかげで日本語も、生活面にもうまく慣れることができました。私の人生で山口は1年間留学した所ではなく、たくさんの思い出ができた大事な所であります。こんな山口が大好きです。ありがとうございました！



### カン・ヒョンウク

1年という時間は人生において短いですが、私にはかけがえのない時間だった。新しい友達との出会い、その中で築き上げた友情。彼らがいなかったら私自身、成長するのがどれほど難しかっただろう。最後に、私と友人になってくれた皆に感謝という言葉を送りたい。

## 2009年に韓国留学する人からの一言



### 青柳 満人

私は留学で語学を習得するだけでなく、外国で1年間暮らすという経験を得たいと思います。また日韓文化交流基金訪韓大学生研修団にも参加しますが、他大学の人々が韓国に対してどのようなことを感じているか、研修を通して知りたいです。



### 藤村 菜美

私は韓国に留学して、韓国のたくさんの人や文化に触れ、様々なことにチャレンジしていきたいです。その為にも積極的に行動して悔いの残らない留学生活を送りたいと思います。一所懸命頑張ってきます!!

## お知らせ

6月7日(日)、第32回ハングル検定試験が行われます。時間はたっぷりあります。また受けたことのない人、そうでない人も、是非チャレンジしてみましょう!! 試験会場は山口県立大学です。一緒に頑張りましょう。

次回の「県大生の韓国ジャーナル」の発刊は10月です。韓国の“今”をお届けしたいと思いますので、次号もお楽しみに!!

## 編集部より

今回の『韓国ジャーナル』No.3は、校外活動が多く県大生の新たな一面が見られるものになっています。編集部は広島県の韓国領事館に行き、直接総領事にインタビューを行ったり、韓国に行ったりと貴重な体験をすることができました。この経験を今後の『韓国ジャーナル』だけでなく、私たち個人の活動にも活かしていけたらと思います。

## クイズの答え

子どもが着る韓国服を「색동치마」(セクドンチマ)といいます。これは陰陽五行から袖が5色の継布で作られます。厄払いや来福が表されています。

